

衆議院議長様
参議院議長様

日本軍「慰安婦」問題の真の解決を求める請願

【請願趣旨】

「慰安婦」問題は、第二次世界大戦時の日本軍による女性の人権侵害として、日本が解決を迫られている問題です。被害者は高齢化し、「生きている間に解決を」という悲痛な訴えは日々切実さを増しています。

日本政府は、これまで頑なに「解決済み」としてきましたが、2015年12月の日韓外相会談で、日本軍「慰安婦」問題について日本政府が「当時の軍の関与」を認め、安倍首相が「心からおわびと反省の気持ちを表明」したことによって一歩前進しました。

日本政府は「最終的、不可逆的に解決することを確認」したとありますが、最終的解決かどうかは真の謝罪・解決として被害者自身と韓国社会・国際社会が受け入れるかどうかです。お詫びの手紙は「毛頭考えていない」という安倍首相の発言や少女像の撤去を迫るなど許されないことです。

真の解決へ、問われているのは日本政府の対応です。被害者が強制的に、日本軍「慰安婦」にされた人権侵害の事実を認め、公式謝罪、国家賠償を行ない、被害者の人権と尊厳を回復すること、「慰安婦問題はなかった」などの公人、政治家の暴言に、政府として反駁すること、次世代への正しい歴史教育を行なう責任があります。

以上の理由から、下記の項目を請願します。

【請願項目】

1、被害者への公式謝罪、賠償、次世代教育など「慰安婦」問題の真の解決を行なうこと

名 前	住 所

2017.2



新日本婦人の会

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20